

組合だより

【 第296号 平成31年2月 日本羊腸輸入組合 】

理事会

○1月16日 平成30年度第5回理事会

組合事務所会議室において、理事9名・監事2名の全役員が出席し開催されました。主な議題は、日中天然腸合同会議の準備状況、平成30年度事業の実施状況についてでした。

なお、平成30年度事業の実施状況については、組合共通課題への取り組みの一つである労働力確保に関連し、新たな外国人材の受入れ（特定技能在留資格）に関する政府の検討状況を報告しました。報告内容の資料は組合ホームページ会員ページに掲載しておりますので御覧ください。また、食品衛生法改正に伴う「HACCPに沿った衛生管理」に関連し、小規模事業者が実施対象となる「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理」のための業界手引書の作成を進めることとしました。

事務局

○1月10日 川村理事長・関副理事長・松永副理事長が、経済産業省・農林水産省・厚生労働省・動物検疫所を訪問し、新年挨拶及び意見交換を行いました。

○1月11日 INSCA HQ Executive Director, Ms. Amy DeAvegno のご逝去に対し、INSCA Joop Schouten 会長及び INSCA 事務局宛に川村理事長名で弔意を表しました。

○1月16日 平成31年賀詞交歓会を五反田「デル ペッシェ」で開催しました。ご多忙の中、組合関係者29名にご参加いただきました。

○1月21日 経済産業省主催の新たな外国人材の受入れに関する説明会に出席しました。

○1月25日 厚生労働省の「外国人労働者の雇用管理の改善等に関して事業主が適切に対処するための指針の一部を改正する告示案（パブリックコメン

ト)」に対し意見提出を行いました。

統計

*統計の詳細は組合ホームページで御確認下さい。

【財務省貿易統計】

平成30年12月の天然ケーシング輸入量は、次のとおりです。

- ・総輸入量 339.9t(前月比+20.1t、+6.3%/前年同月比△137.9t、△28.9%)
- ・中国原産 225.3t(// +22.3t、+11.0%/ // △34.1t、△13.1%)
- ・豪州原産 51.9t(// △13.6t、△20.7%/ // △42.1t、△44.8%)
- ・NZ原産 60.9t(// +14.2t、+30.5%/ // △50.2t、△45.2%)

【組合報告統計】

平成30年12月の天然ケーシング輸入量は、次のとおりです。

- ・報告数量 合計： 723, 411ハクス(前年同月比： 61.2%)
- 羊腸： 710, 161ハクス(// : 61.4%)
- 豚腸： 13, 250ハクス(// : 54.3%)

*報告組合員数は15社です。

【ソーセージ生産量(出典：日本ハム・ソーセージ工業協同組合)】

平成30年11月のソーセージ生産量は、次のとおりです。

- ・ソーセージ類合計生産量 : 27, 970.5トン(前年同月比： 97.2%)
- ウィンナーソーセージ : 20, 738.7トン(// : 96.4%)
- フランクフルトソーセージ : 2, 730.8トン(// : 104.8%)

HP更新内容(統計関係を除く)

- 英国から輸入されるめん羊肉等の取扱いについて
- モンゴルにおけるアフリカ豚コレラの発生について
- 「外国人労働者雇用管理に関する事業主の対応指針の改正告示案」のパブリックコメント募集について
- 飲食料品製造業分野における外国人材受入れの検討状況について
- 改元に伴う情報システム改修等への対応について

参考情報

【飲食料品製造業分野及び外食業分野における新たな外国人材の受入れに関するブロック説明会の開催予告】

今般の入管法改正により、新たに「特定技能」の在留資格が創設され、飲食料品製造業分野及び外食業分野が新制度の対象となっています。

農林水産省では、今後、本制度について広く周知するため、飲食料品製造業分野及び外食業分野を対象とした説明会を2月上旬から3月中旬の間で、全国10ヵ箇所程度にて開催するとのことです。

現時点では、日時・開催場所は未定ですが、決定しましたら組合HPに情報提供する予定です。

－説明会の内容項目－

- (1) 改正入管法、特定技能の在留資格について（基本方針）
- (2) 飲食料品製造業分野の運用方針、運用要領
- (3) 外食業分野の運用方針、運用要領
- (4) 特定技能所属機関（受入れ機関）のやるべきこと
- (5) 外国人受入れの手続き
- (6) 外国人受入れの心構え

【INSCAからの家畜伝染病発生通知（日付はOIEへの報告日）】

- | | | |
|--------|------|-------------|
| ○1月15日 | 中国 | アフリカ豚コレラの発生 |
| ○1月15日 | モンゴル | アフリカ豚コレラの発生 |
| ○1月21日 | 中国 | アフリカ豚コレラの発生 |

【動物検疫所からの情報提供】

－韓国での口蹄疫再発－

1月30日付け文書をもって、韓国京畿道安城市（あんそんし）の乳牛農場において口蹄疫（O型）の発生が確認された旨のお知らせがありました。昨年4月以来約8か月ぶりの発生となり、動物検疫所としては、中国と同様に旅客携帯品検査、靴底消毒の徹底等、引き続き的確な水際検疫を実施していくとのことです。

－中国からの携帯品畜産物のASF遺伝子検査－

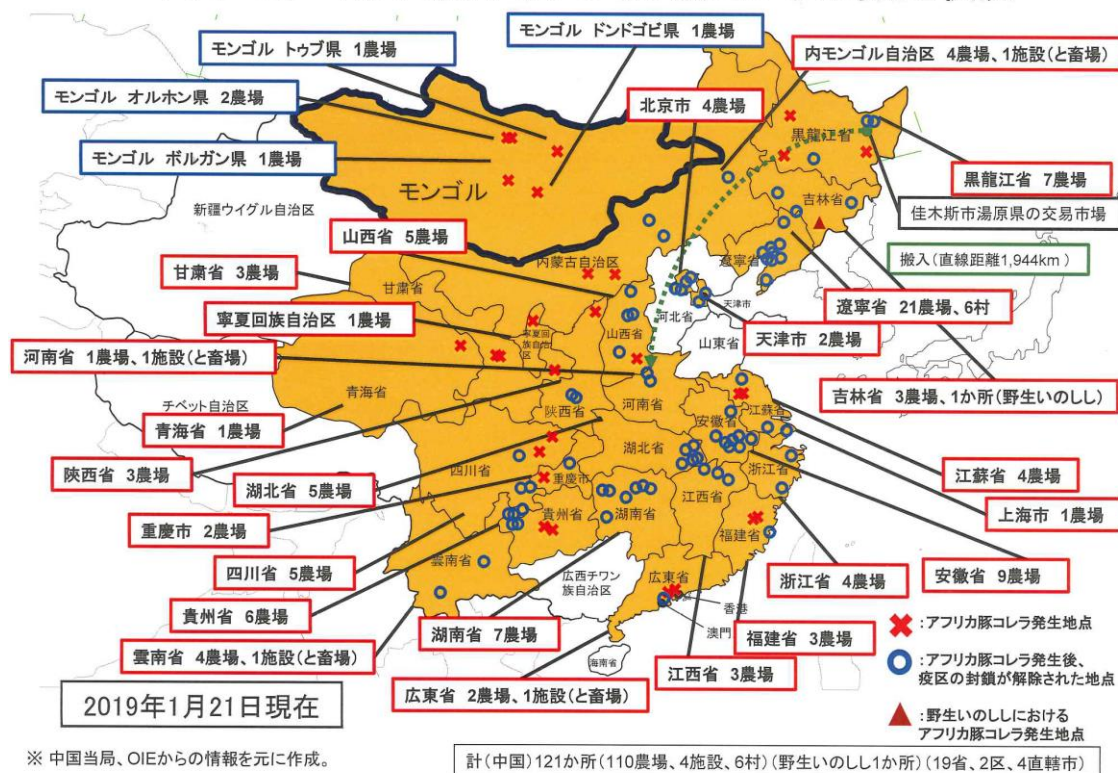
動物検疫所では、昨年8月3日に初めて中国においてASFが確認され、また10月19日（新千歳空港）、11月9日（羽田空港）及び11月22日

(成田空港) に中国から携帯品で持ち込まれた豚肉製品からASFウイルスの遺伝子が確認されたことを受け、水際検疫の強化を行っているところです。

- 1 例目 到着日：2018 年 10 月 1 日
所有者の搭乗便：北京発、新千歳空港着
品目：ソーセージ (1.5kg)
検査結果：ASF ウイルス遺伝子検査 陽性
ASF ウイルス分離検査 陰性
- 2 例目 到着日：2018 年 10 月 14 日
所有者の搭乗便：上海発、羽田空港着
品目：豚肉製品 (0.4kg)
検査結果：ASF ウイルス遺伝子検査 陽性
ASF ウイルス分離検査 陰性
- 3 例目 到着日：2018 年 11 月 9 日
所有者の搭乗便：大連発、成田空港着
品目：ソーセージ (2.5kg)
検査結果：ASF ウイルス遺伝子検査 陽性
ASF ウイルス分離検査 陰性
- 4 例目 到着日：2019 年 1 月 12 日
所有者の搭乗便：上海発、中部空港着
品目：ソーセージ (0.6 kg)
検査結果：ASF ウイルス遺伝子検査 陽性
ASF ウイルス分離検査 検査中
- 5 例目 到着日：2019 年 1 月 12 日
所有者の搭乗便：青島発、中部空港着
品目：ソーセージ (自家製) (1.3kg)
検査結果：ASF ウイルス遺伝子検査 陽性
ASF ウイルス分離検査 検査中
- 6 例目 到着日：2019 年 1 月 16 日
所有者の搭乗便：瀋陽発、中部空港着
品目：ソーセージ (0.5kg)
検査結果：ASF ウイルス遺伝子検査 陽性
ASF ウイルス分離検査 検査中
- 7 例目 到着日：2019 年 1 月 12 日
所有者の搭乗便：上海発、羽田空港着
品目：ソーセージ (0.1kg)
検査結果：ASF ウイルス遺伝子検査 陽性
ASF ウイルス分離検査 検査中

畜産物検査手続きについては、現時点で本件による新たな変更はありませんが、引き続き、家畜衛生条件に規定される「日本への船積みまでの間、清潔で衛生的な容器又は包装で保管され、家畜の伝染性疾病の病原体による汚染のない方法」による取扱いについて、申請者、輸入者を通じて現地側への注意喚起の徹底をお願いいたします。

中国・モンゴルにおけるアフリカ豚コレラの発生状況



今後の主な予定

- 3月13日(水) 日中天然腸貿易合同会議
～15日(金) (於 厦門：中国肉類協会天然腸衣分会との合同会議)
- 3月26日(火) 平成30年度第6回理事会
- 4月12日(金) 監事監査
- 4月17日(水) 平成30年度第7回理事会
- 5月27日(月) 第56回通常総会

以上